

越教組ニュース

越谷市教職員組合
情宣部
16.01.26(火)
tel 989-2473
FAX 988-3281

今年も組合にご支援・ご協力をお願いします

二〇一六年がスタートしました。越谷の子どもたちにより良い教育をと日夜奮闘されている教職員の皆様、今年もよろしくお願ひ致します。

さて、年頭に当たり三つの点についてふれて、ごあいさつと致します。

平和を守れ

昨年は戦後七〇年という節目の年であり、平和への誓いを新たにするものでした。しかし、安倍政権は「閣議決定」で憲法解釈を

転換し、日本への武力攻撃がなくても「自衛の措置」としての武力行使＝集団的自衛権の行使ができるとなりました。そして、連日数万人の国民が国会前に抗議の声を上げる中で、強行採決、成立させました。

一旦、戦闘が始まれば

想像してみてください。この戦争法のもとで、戦闘の火ぶたが切られた時のことを。マスコミ、ネットなどでは戦闘の情報が溢れ、闘いで犠牲者が出れば日本のために命を賭して働いた

「英霊」として、学校にも半旗や黙祷ということも考えられます。

テロの避難訓練

フランスのようにテロの危険性が増せば、学校でもテロを想定した避難訓練をしたり、テロに備えた体制を整えたりすることになるでしょう。戦争法は、学校の遠くにあるものではなく、学校のすぐ隣にあるのです。

越教組は、この戦争法をめぐり全国各地で立ち上がった様々な方々と力を合わせ、この戦争法を廃止させるために力を尽くしていきたいと思えます。

負担軽減

多くの教職員が「子どもたちのために」と、朝早くから夜遅くまで働いていきます。しかし日本の教育に關わる公費負担はOECDの中で六年連続最低：金をかけず激務を強いる中で、職員は

疲労困憊し、常識的な時間内で、授業準備も十分にできない、子どもたちの話をゆっくり聞いてあげられない。そんな環境が続いているのです。

教職員にも

法の適用を

私たちは、法に基づき、事業者が一人ひとりの労働時間を把握することを要求しています。その目的は、労働時間を客観的数値から問題化していくためのものです。忙しいという感覚ではだめです。また、労働安全法の趣旨からすれば、異常な過重労働を解消することが求められるのに、行政はこの状況をずっと放置しています。教職員にも、当たり前に法を適用を求めめるものです。

教育の観点として

みなさんの中には、自分の労働時間を気にしたことがないという人もいます。しかし、教え子はブラックバイト・ブラック企業が渦巻く社会に出て行かなければなりません。そん

教職員の休職者数依然として高い水準

年度末、文科省は2014年度の人事行政状況調査を発表しました。その中で昨年度の教職員休職者は5045人、うち精神疾患に起因するものの割合が61%であることが明らかになりました。



この数字は昨年度の休職者の数を33人下回るものの精神疾患の占める割合は0.6%増、教職員の健康状態が引き続き危機的であることを示しています。教職員の休職者数については2000年あたりから急増し、7~8年前から5000人の大台を超え、同時に精神疾患の占める割合も60%を超えています。一向に減らない教職員の健康破壊に目を向けた施策が求められます。



な、教え子にも自分を守る力を育てることも大事なことです。知識ではなく、社会的不正を許さないあなたの生き方、姿勢を伝えてください。

同僚を守る観点として

、会議等の責任者になれば、時間外勤務を申し出なければならぬこともあるでしょう。その際は、「自分はいいから」は通じません。同僚の権利をあなたが守る義務があるのです。また、校務分掌上の仕事を日常的に時間外に行っている場合、客観的にはその仕事は時間外にやるのが当たり前となつていませんか。次に引き継いだ人が、時間外にやらなくてすむような環境を作ってあげましょう。そんな仕事の進め方にしていきませんか。

教育政策

越谷が中核市となり、小中連携が叫ばれ、全小中学校が五年間の委嘱校とされました。秋には一年目の発表がありました。

実はこの委嘱には実施計画案があり、そこでは「合同あいさつ運動を年三回以上実施する」「ノート指導の九年間の方針と形式を教科毎に示す」「合同で教科部会を年一回以上実施する」などが示されています。さらにそれらはどの学校も実施しなければならぬ必須事項とされていたのです。

私たち越教組は、これを「例示にとどめよ」と市教委に申し入れました(一五年三月)が、市教委は「必須」だと譲りませんでした。私たちは引き続き、七

月の団体交渉でこの問題を取り上げました。この席で、市教委は「例示とする」という回答を示しました。私たち越教組は、現場が求める教育政策を伝えると同時に、学校に混乱を持ち込む教育政策には異議を伝えていくものです。

私たち越教組は、全力でこれらの要求実現に向けて尽力していきます。ぜひあなたも仲間になって力を貸してください。

